

一般質問通告事項

令和8年2月25日
第1回松江市議会定例会

順序	議員名	森脇勇人	(代表質問)	(一括方式)	質問日(予定)	3月3日
質問項目		質問要旨				
1	高市政権に対する期待と所見について	<p>(1) 先般の衆議院選挙では、自由民主党が圧勝し過半数を超える316議席、維新を含めた与党では352議席と戦後最大となった。松江市においても厚生労働事業のスペシャリスト、8の字ルート、境港出雲道路(松江北道路)などの事業推進に積極的な高階恵美子衆議院議員が誕生した。高市総理の思いもこの選挙戦で述べられているが、高市政権、高階衆議院議員に対する期待も含め市長の所見を伺う。</p>				
2	新年度予算について	<p>(1) 国の新年度予算が未確定だが当初予算において中期財政見込みに挙げた事業予算はそれぞれに思うような配分はできたのか伺う。</p> <p>(2) 国の補助事業、交付金事業の予算獲得はうまくできているのか伺う。</p> <p>(3) 決算意見に対応する予算対応はできたのか伺う。</p> <p>(4) 2期目の2年目を迎え、構想から実行が期待されているが市長の具体的事業への意気込みを伺う。JR松江駅前再開発(一畑百貨店の活用)・旧県立プール跡地の有効活用・市役所周辺(末次放水路)・中尾地区の開発等について伺う。</p>				
3	道路予算について	<p>(1) 道路予算については国の補正予算で当初予算での要求分を確保したと聞いた。しかしながら交付金ルールがあり、これでは小さな町になるほど事業着手が遅れ結局繰越明許、不用額計上されるなど予算が執行できないということも生じる。高市政権では今後補正に頼らず当初予算でしっかりと要望に応え事業運営できるよう取り組まれるとの報道もあったが、市長の所見を伺う。</p> <p>(2) 12月議会でも社会資本整備総合交付金の配分について質問した。残念なことに先般、4車線道路であり交通量の多い、くにびき道路の信号機が腐食して倒れるという前代未聞の事故があった。東出雲町では横断歩道上での重大な死亡事故もあったが、横断歩道や停止線も消えかかっていたと聞いた。いずれも県管理道路で松江市管理の道路ではないが「松江市の道路」で起きた事故である。過去に死亡事故が起きて設置された横断歩道も消えており、道路予算が無いからでは済まされない。早急な修繕、対応を行うべきだが所見を伺う。</p> <p>(3) 松江市内の国道、県道、市道の修繕・管理計画と、このような状況になっている現状について市長の所見を伺う。</p>				
4	原子力発電関連交付金について	<p>(1) 交付金の対象者がUPZ、30キロ圏内と広がった。そのこともあり鳥取県では多くの交渉を望みたいようだが、そもそも立地市である松江市への対応が未だ不十分と考える。1市2町から松江市全域が対象になるが、新たな地域への今後の対応と、現在までの1市2町以外での交付金の利用状況を伺う。</p> <p>(2) 経済産業省、内閣府を始め事業実施を行うためには省庁別での対応が必要と考えられる。松江市としては政策部及び防災部と事業実施しようとする各部との連携・調整が必要と考えるが、これまであまりできていないように感じるが状況を伺う。</p>				

一般質問通告事項

令和8年2月25日
第1回松江市議会定例会

順序	1	議員名	森脇勇人	(代表質問)	(一括方式)	質問日(予定)	3月3日
質問項目		質問要旨					
5	物価高騰対策について	<p>(3) 特に多くの事業が島根県を通して申請する事業となるため、島根県との関係強化が必要となるが、ここ数年そういった事業が見当たらない。国、県の担当部署との協議など今後どのような対応で行うのか伺う。</p> <p>(1) 年金収入だけの高齢者にとっても固定資産税、市県民税、国民健康保険料、水道光熱費を支払っての生活は大変である。こういった方たちへの対応は考えているのか伺う。</p> <p>(2) 地方の物価高騰対策について、松江市だから行う独自の対応について市長の所見を伺う。</p>					
6	周辺地、過疎地での人口減少対策と学校数、教育内容の検討について	<p>(1) 周辺地域の人口減少の状況、対策など、どのようなことをなされてきたのか、またどのような考えか伺う。</p> <p>(2) 人口減少の中、松江圏域の高等学校数、高等学校の在り方など検討されたことがあるのか、県教育委員会、私学連盟との協議はあるのか伺う。</p> <p>(3) 小学校、中学校の数をどうするのか検討はされているのか伺う。</p> <p>(4) 少人数学級に対して新しい教育の在り方など検討はされているのか伺う。</p>					

一般質問通告事項

令和8年2月25日
第1回松江市議会定例会

順序	議員名	川島光雅	(代表質問)	(一括方式)	質問日(予定)	3月3日
質問項目		質問要旨				
1	施政方針について	<p>(1) 財政運営について</p> <p>ア 今後は新庁舎整備や総合体育館整備などの大型事業が終わるが、予算は拡大傾向を続けていくものと思う。財源確保をどのように考えているのか伺う。総体的に地域経済の拡大とともに自主財源を増やしていくことが持続性につながると、以前から申しているが、これらの取り組みについても伺う。</p> <p>イ 政府は、年収の壁の178万円への引き上げや食料品の2年間消費税ゼロを打ち出しており、減税財源をどのようにするか不安視する声もあるが、これらに対する影響をどのように受け止めているのか伺う。</p> <p>(2) 「松江駅前デザイン会議」について</p> <p>ア 駅前再開発を着実に進めるとあるが、具体案がなかなか見えてこないのので、今後の進展があれば伺う。</p> <p>イ 将来の松江市を活力で目覚めさせるためには、テルサの建物を解体する工事費が10数億円かかるとして、更地にして、新たな活用策を見出してもよいのではないかと感じるようになった。 高市総理は、「挑戦しない国に未来はない」と言っている。ある意味、リスクがない事業に成功と果実はないとも言える。松江駅を交通結節拠点として利便性や賑わいを取り戻すことによって、松江駅を拠点にさらに東西南北の賑わいの広がりができるものと思いますがご所見を伺う。</p>				
2	地域未来戦略について	<p>(1) 産業戦略について</p> <p>ア 石破政権では地方創生2.0で、どちらかというと若者支援と女性支援策が強かったが、高市政権では地域未来戦略として、積極財政や強い経済に重点が置かれているような気がする。 地方自治体においては今までと違いが出てくるのか、取り組みとして重点を置くところが変わってくるのか伺う。</p> <p>イ 高市政権では「地域未来戦略」で、これまでの地方創生で進めてきた取り組みに加え、「強い経済」の実現に重点を置いて(後略)」として、国主導のもと地方発の成長戦略を目指している。 市長が施政方針で述べている、中尾地区での最先端産業クラスターの形成は、これらに当てはまるような気がするが、実現性について伺う。進出企業の具体策があるのか。また、国からの支援策があれば伺う。</p> <p>(2) 人口減少対策について</p> <p>ア 松江市は、人口も毎年1,000人以上減少している現実と、自然動態、社会動態などをみても、思わしくない。近年は関係人口なども加味して自治体の維持に取り組んでいる市町村もあるが、松江市においては、朝ドラ「ばけげん」効果で認知度も上がるとともに、観光振興にも力が入っているが、人口減少対策で希望の見える今後の展望と対策があれば伺う。</p>				
3	外国人対策について	<p>(1) 現在の松江市における外国人は何人か伺う。</p>				

一般質問通告事項

令和8年2月25日
第1回松江市議会定例会

順序	議員名	川島光雅	(代表質問)	(一括方式)	質問日(予定)	3月3日
質問項目		質問要旨				
4	土地利用制度について	<p>(2) 他の県では、外国人の土地や固定資産の購入が問題になっているところがある。松江市において外国人の土地や固定資産の購入名義が、ここ数年間に何件あるのか伺う。</p> <p>(3) 居住資格者以外で留学や特定技能外国人の人数は何人であるか。またその他の活動資格者は何人であるか伺う。</p> <p>(4) 日本は人口減少社会で人手不足の業種がある中、人材を求める状況にある。排斥するのではなく、不適切なものは是正し、見直し、共生をしていくのが、日本の生きる道だと思うが、外国人による土地や固定資産の購入や在留資格問題、そして外国人労働者の受け入れに対して、市長の所見を伺う。</p> <p>(1) 固定資産税の評価について</p> <p>ア 当然、固定資産の評価に対して疑問を持つ方もおられると思う。固定資産評価委員会へ不服申し立てをする制度もあるが、今までに何件、この審査はあったのか件数を伺う。また、申し立てを受けて見直しを行った件数や事例があれば伺う。</p> <p>(2) 農用地区域へのかかわり方について</p> <p>農用地区域でも、立地場所としてインフラ環境が変わり以前のように農業をしにくくなったり、農地だけでの目的でなく多用途も考えられるがどのように考えるか。また、農用地区域なら農業をするためにしっかり基盤整備に対しても支援を行う施策を示してほしいとの意見があったが、これらの意見に対して市長の所見を伺う。</p> <p>(3) 移行目標の2026年度の実施について</p> <p>ア 2026年度をめどに新たな土地利用制度への移行を目指すとしていたが、決定権を持っている島根県での都市計画審議会での現況はどうなっているのか伺う。</p>				
5	海外との交流事業について	<p>(1) 市長は、アイルランドとの交流会やフランス・パリでの商談などをこなし、台北には建国花市の朝にフランスから入ってこられた。忙しいトップセールスを続けておられたが、この機会に、台湾、インド・ケララ州、アイルランド、フランスなどとのトップセールスの今後の見通しや展望などの所見を伺う。</p> <p>(2) 中国とは杭州市、吉林市、銀川市、韓国とは晋州市との交流があるが、現在の交流は活発に行われているのか。その状況と展望を伺う。</p>				
6	地域の伝統的産業の振興について	<p>(1) 宍道町にある来待ストーンは石灯ろうの産業の歴史の顕彰や産業振興のための拠点施設で来待石細工ができる工房、陶芸館などもあるが、灯ろう産業の衰退に並行するように、なかなか、その存在を活かし切れていない。学芸員も2名いる施設である。市の積極的な投資支援が必要と思う。また、減少する工芸士の育成と伝統的産業の振興に対しても、どのように考えているのか所見を伺う。</p>				

一般質問通告事項

令和8年2月25日
第1回松江市議会定例会

質問項目	質問要旨
7 プルサーマル計画について	<p>(1) 2009年に事前了解して、その後2011年に福島第一原発事故があった。島根原発におけるプルサーマル実施計画の事前了解から現時点まで17年という相当な空白期間がある。現在もプルサーマル燃料を使用している原発は3か所あるが、原子力規制庁の審査を合格したからといっても、長い時間を経ての松江市は初めての試みになるわけであるので、住民説明では、中国電力の主体的な説明だけでなく、市もしっかりと説明会への出席や、この問題に寄り添い市民の声に耳を傾ける姿勢が必要と思うが、市長のご所見を伺う。</p> <p>(2) 市議会においても多数が了解し、松江市は事前了解をしたという事実があるが、その判断は今も有効に履行されているのか伺う。</p>

一般質問通告事項

令和8年2月25日
第1回松江市議会定例会

順序	議員名	海徳邦彦	(代表質問)	(一括方式)	質問日(予定)	3月3日
質問項目		質問要旨				
1	物価高騰対策について	<p>(1) 島根県の補助金を財源として住民税非課税世帯等に対する1世帯あたり3万円給付事業があるが、給付対象者の起算日はいつになるのか、また、この事業の給付事務を担う体制はどのようになっているのか伺う。</p> <p>(2) 令和8年度当初予算で、重点支援交付金の残額は、1.4億円と見込むが、今後のこの残高の活用策について伺う。</p>				
2	アイルランド・フランス・台湾訪問について	<p>(1) アイルランド(ダブリン市・トラモア市)・フランス(パリ市)・台湾(台北市)の訪問目的について伺う。</p> <p>(2) アイルランド・フランス・台湾の訪問では、どのようなことを行い、どのような成果を得ることができたのか伺う。</p> <p>(3) 市長の立場として、初めてアイルランド・フランスを訪問したと聞くが、オンラインでの対面ではなく、直接訪問する意義について伺う。</p> <p>(4) アイルランド・フランス訪問後に感じた課題と今後の展望について伺う。</p>				
3	犯罪被害者等支援の体制について	<p>(1) 松江市での犯罪被害者等の支援の状況と課題について伺う。</p> <p>(2) 島根県や島根被害者サポートセンターとの連携について伺う。</p> <p>(3) 関係団体等の連携強化も重要である。犯罪被害者等支援条例を制定し、犯罪被害者等が安心して暮らせる地域社会の実現を目指すべきと考えるが見解を伺う。</p>				
4	次期ごみ処理施設整備について	<p>(1) 松江市のごみ処理施設の現状と課題について伺う。</p> <p>(2) 次期ごみ処理施設として、市単独整備なのか、周辺自治体との広域化を図るのか見解を伺う。</p> <p>(3) 次期ごみ処理施設の選定地の考え方について伺う。</p> <p>(4) 次期ごみ処理施設整備には、長期間の協議等が必要と考える。協議会等を立ち上げて準備を進めていくべきと考えるが見解を伺う。</p>				
5	第51回衆議院議員総選挙について	<p>(1) 松江市の投票率について所見を伺う。</p> <p>(2) 選挙ポスター掲示板設置や投票所入場券等は何とか間に合ったと思う。選挙準備に従事した業者は、どのような状況であったのか伺う。</p> <p>(3) 今回、イオンの期日前投票所では、列ができるほどの状況であったと聞く、問題はなかったのか伺う。</p>				

一般質問通告事項

令和8年2月25日
第1回松江市議会定例会

順序	3	議員名	海德邦彦	(代表質問)	(一括方式)	質問日(予定)	3月3日
質問項目		質問要旨					
		(4) 投票日当日は、大雪であった。市道等の除雪に対応した職員は、どの程度いたのか、また、各投票所での除雪体制等はどのような状況であったのか伺う。					
		(5) 今回の選挙により予算編成が新年度に間に合わなければ、どのような事が市民生活に影響があるのか伺う。					

一般質問通告事項

令和8年2月25日
第1回松江市議会定例会

順序	議員名	津森良治	(代表質問)	(一括方式)	質問日(予定)	3月3日
質問項目		質問要旨				
1	新たな企業団地について	<p>(1) 今回の中尾地区に整備されようとしている企業団地には、どのような業種、業態の企業の集積を図るお考えか伺う。</p> <p>(2) 雇用創出と地域産業の発展を導いていくためにも、今後、企業団地周辺の定住や生活環境の整備も進めていただきたい。企業団地周辺地域の整備についてのお考えを伺う。</p>				
2	国、都道府県、市町村の役割分担について	<p>(1) 市長は、今後の地域の自立についての定義や、地方分権が目指した個性を出す地域づくりにどのように取り組んでいかれるのか伺う。</p> <p>(2) 国、都道府県、市町村の役割分担についてはどのようなお考えか伺う。</p> <p>(3) 市町村事務の県への移管なども含め、地方制度調査会ではどのような議論を期待されているのか伺う。</p>				
3	公民館、町内会・自治会について	<p>(1) 各地域の実情やニーズの把握はどの程度進んでいるのか、それを踏まえた公民館や町内会・自治会の果たす役割についての検討は、どのような状況か伺う。</p> <p>(2) 行政からの依頼事項や依頼の仕組みについて見直しを図り、可能なものから令和8年度には実行に移すとされたが、依頼事項や依頼の仕組みについての見直しの進捗状況と、令和8年度から実行される内容があれば伺う。</p> <p>(3) 町内会・自治会に対する各種手当、補助金などについても見直しを検討いただきたい。所見を伺う。</p>				
4	子ども性暴力防止法(日本版DBS)について	<p>(1) 性犯罪歴の確認が必要な職種については、子どもとの関係の支配性・継続性・閉鎖性の三つの要件を満たす場合とされている。本市の場合、性犯罪歴の確認対象となる職種について伺う。</p> <p>(2) 文科省は令和5年度に児童生徒へのわいせつ行為や窃盗などで処分を受け、免許を失効した教員のDB(データベース)を活用する仕組みを整備している。本市は、これまでもDBの活用が適切に行われてきているのか伺う。</p> <p>(3) 今後の安全確保措置についてはどのような取り組みをなされるのか伺う。なかでも、子どもと一対一になる場所への防犯カメラの設置が推奨されている。本市も防犯カメラの設置について検討されるのか伺う。</p>				
5	第8回全国シジミ・シンポジウムin松江に参加して	<p>(1) 宍道湖のシジミ資源を守り増やしていくこと、健全な汽水湖を維持・継続していくため、今後の本市の取組についてのお考えを伺う。</p>				

一般質問通告事項

令和8年2月25日
第1回松江市議会定例会

順序	議員名	たちばなふみ	(代表質問)	(一括方式)	質問日(予定)	3月3日
質問項目		質問要旨				
1	高市政権による軍 拡懸念、命守る政治 を	<p>(1) 第2次高市政権が発足した。施政方針演説では、中国を念頭に、「長期戦への備え」など「主体的に防衛力の抜本的強化を進める」ため、国家安全保障戦略など安保3文書の前倒し改定や、殺傷兵器の全面的な輸出解禁に向けた防衛装備移転3原則運用指針の見直しなどを表明し、アメリカの言いなり軍備拡大のもと、ますます戦争国家づくりへ進もうとしていることが明らかとなった。</p> <p>ア 軍事拡大予算によって、医療費4兆円の削減、社会保障、教育予算が圧迫されている。地方自治体はその本旨である「住民福祉の充実」のため、国の予算を軍備増強から切り替えるよう求める必要があると考えるがどうか伺う。</p> <p>イ 松江市は昨年9月、安保3文書に基づく計画である、空中給油機的美保基地への10機配備を了解した。その美保基地で12月12日再びC-2大型輸送機からの部品落下が起きた。高さ30センチ重さ1キロのアンテナの一部とのこと。2021年5月にはC-2大型輸送機から1.5キロのスプリングが落下し周辺の人々は本当に怖い思いをした。松江市として原因究明や飛行中止等を強く求めるべきと考える。市民の安全のためにどのように対応するのか改めて伺う。</p>				
2	大地震 防災減 災、老朽化対策	<p>(1) 1月6日松江市内で震度5強、5弱を観測。鳥取西部地震以来の大地震を経験した。震源地は安来市だが、松江市でも多くの被害に見舞われた。改めて自然災害の備えについて伺う。</p> <p>ア 被災者支援について、市としての支援策がないために申し出ない方が多いのではないかとされている。被災者生活再建支援制度は全壊、半壊、準半壊の基準があり見舞金も全壊で5万円、半壊で3万円、床上浸水で2万円。屋根瓦の損害や洪水時の床下浸水には何の支援もない。支援策のない損害に対してせめての見舞金の支給を求める声があるがどうか。支援策の拡充について考えはどうか伺う。</p> <p>イ 住宅耐震化について、能登半島地震でも多くの木造家屋が壊れ耐震化が課題となっている。木造住宅耐震改修補助事業や、木造住宅耐震診断補助事業について、実施状況や、市民への周知の状況を伺う。</p> <p>ウ 公共施設の耐震化について長寿命化計画や耐震化等の状況はどうか伺う。 また、学校施設の耐震対策の状況、長寿命化計画の進捗について伺う。</p> <p>エ 干拓地の液状化について今回の地震の被害状況を伺う。国交省の重ねるハザードマップ「地形区分に基づく液状化の発生傾向図」によると、松江市内は東出雲町や竹矢地域、大橋川周辺、宍道湖周辺、そして大海崎堤防や森山堤防が危険度が高いとされている。市民周知へハザードマップ作成等を国の支援も求め行う必要があると考えるがどうか伺う。</p> <p>オ 今般の大地震で、多くの市民が避難行動を行い、改めて考える機会となった。自治会等でも、昼間働く人々は出かけている中でどのように要支援者に声をかけるのかなど工夫して対応したと聞く。自主防災組織などの災害対策で、今回の地震の教訓があれば伺う。</p>				

一般質問通告事項

令和8年2月25日
第1回松江市議会定例会

順序	議員名	代表質問	(一括方式)	質問日(予定)	3月3日
質問項目		質問要旨			
3	中部電力が浜岡原発審査で不正 原子力規制庁の審査に疑問	カ	<p>防災備蓄品の準備支援について保育園で働く皆様から当日の様子などを伺った。災害時の休園指針を作られたことは役立った。天候の良い昼間の地震であり外に安全に子どもたちを避難させることができた。これが悪天候の場合や、ライフラインが損害を受けた場合、寒い中で保護者の迎えを待ったり、ましてや大雪や原子力災害との複合災害などが起きれば、避難は困難とも言われる。現在保育園には県から原子力防災用として水と粉ミルク、ビスケットが配布されている。それぞれの園の生活に即した備蓄品を購入し、防災訓練で試す、使ってみる、食べてみるなど、日ごろ行われている月1回の訓練で、職員や子どもたちが慣れておく必要があると考える。県の事業と共同し、保育施設への防災備蓄品や防災用品購入助成を求めよう。</p> <p>(1) 中部電力が静岡県の浜岡原発で、基準地震動のデータを意図的に操作していたことが発覚した。不正が発覚したのは昨年2月、外部から規制委に情報提供があった。電力会社が示すデータの真偽を判別できないのでは、規制委の審査に「合格」しても安全は何ら保証されないことになる。規制委員会による審査の根底をくつがえす大問題ではないか。</p> <p>ア 浜岡原発だけでなくすべての原発について、データの信頼性を確認し、不正の有無を調査すべきと考えるがどうか伺う。</p> <p>イ 松江市は、これまで規制委員会の審査について、国による厳格な審査、最も厳しい審査と呼び、これに通ったということを事前了解等の判断材料としてきた。立地自治体として、規制委員会に対し審査のあり方そのものに疑問を呈し、規制委員会の審査を根拠とした事前了解を撤回し、原発をストップさせることが求められていると考えるがどうか伺う。</p>		
4	島根原発のプルサーマルについて	カ	<p>(1) 先般、市議会島根原子力発電対策特別委員会が行われ、中国電力から島根原発2号機におけるプルサーマル発電について、2029年度開始をめざすなどの説明があった。その際、松江市としての立場は2009年に事前了解しており2022年の再稼働事前了解にはプルサーマル計画も含まれているなど説明があった。</p> <p>ア プルサーマルの事前了解は福島第一原発事故以前のものであり、17年前のもの。立地自治体である松江市が17年前の事前了解で十分だと言い切ることは、市民に対して無責任だと考えるがどうか伺う。</p> <p>イ 松江市は2009年審査の際、懸念事項を残している。例えば「使用済みMOX燃料の処理について」は「第二処理工場及び中間貯蔵施設の建設について具体的な計画を策定される必要」「燃料配置操作においてヒューマンエラーが起きることの内容、中国電力の徹底した管理が必要」であることなど。現在でもその懸念は払しょくできていないと考えるがどうか伺う。</p> <p>ウ 六ヶ所村で建設中の使用済み核燃料再処理工場は27回も延期されており完成は見通せない。中間貯蔵も最終処分も見通せない。結局使用済み核燃料をどうするかという問題は解決できていない。まず原発をストップし核のゴミを産まないことが、住民の命と財産に責任を負う立地自治体の態度だと考えるがどうか伺う。</p>		

一般質問通告事項

令和8年2月25日
第1回松江市議会定例会

順序	議員名	代表質問	(一括方式)	質問日(予定)	3月3日
質問項目		質問要旨			
5	中海産サルボウガイ(赤貝)生産支援を	<p>(1) 中海産の赤貝・サルボウガイを巡って、12月10日の検査で下痢性貝毒の値が規制値を上回り、県が中海漁協に出荷の自粛を要請した。今年1月7日に自粛要請がいったん解除されたものの、16日に再び規制値を超えたため再度出荷自主規制が要請される事態となった。サルボウガイ復活を目指してきた漁業関係者は、伝統の食文化、産業を守りたいという一心で、時給10円とも言われる事業を何とか行っている。残念ながら今年で事業から撤退することを決めた方もおられると聞く。</p> <p>ア 天然稚貝が採取できなかった時のために活用する人工種苗の生産への支援は、試験養殖の際はあったが漁業権設定でなくなった。人工種苗生産の支援を復活させてほしいと考えるが見解を伺う。</p> <p>イ 今般の予算案でサルボウガイの支援策である施設整備補助の拡充が発表された。生産者の皆さんの困りごとの声をよく聞いていただき、補助対象、範囲の拡充など柔軟な対応を求める。見解を伺う。</p> <p>ウ 松江市は「中海振興ビジョンにおいて、水産資源の回復、サルボウガイ(赤貝)養殖業を支援し、特産品の生産拡大を図る」としている。県と一層の協力で、赤貝生産を守り、市民の伝統的食を持続可能としてほしいと考える。見解を伺う。</p>			
6	学校給食費の無償化について	<p>(1) 物価高騰が続き、子育て世帯の経済的負担は増える一方だとして、学校給食の無償化を求める運動が全国で広がった。政府は「小学校では2026年度に実現し、中学校への拡大もできる限り早期に実現する」と示し一人当たり5,200円の支援を行うこととなった。これではそもそもの目的である「保護者負担の無償化」は置き去りにされかねないとして私たち共産党市議団は12月議会で「国の責任で小中学生の学校給食費無償化を」と改めて訴える意見書を提案した。</p> <p>今般、松江市の予算案で、保護者負担は大幅に軽減され、中学校給食費も物価高騰で値上げ予定であるところそれを交付金で支援し保護者負担は据え置きとの案が発表された。</p> <p>ア 小学校の保護者負担をゼロにするにはあといくら予算が必要か、中学生まで無償としたときはどうか伺う。子育て支援に力をいれる松江市として、独自の支援策で小学校からでも思い切った無償化を行うことが求められると考えるがどうか伺う。</p>			